

## 社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク 2018年度 事業報告書(案)

### <実施期間>

2018年4月1日～2019年3月31日

### <2018年度の方針>

#### (1) NPO/NGOが自ら取り組む社会的責任（以下、SR）の普及

NPO/NGOが自らの組織で取り組むSRを推進するため、具体的な取り組みを紹介し共有する機会を広げる。

#### (2) 他セクターとの協働によるSRの普及

さまざまなセクターと連携してSRへの取り組みを促進するべく、NNネットはNPO/NGOの取り組みの成果を他セクターと共有し、また他セクターの取り組みからも学ぶとともに、他セクターのSRへの取り組みを促すNPO/NGOを育成・サポートする。

#### (3) 社会的影響力のある課題に対するマルチステークホルダープロセスの推進とアドボカシー（政策提言）の強化

持続可能な調達規格（ISO20400）／SDGs／2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどの社会的影響力の大きなイベントでマルチステークホルダープロセスを元に社会的責任が果たされることに尽力するとともに、社会的影響力のある課題の重要性、具体策を提言していくとともに、地球環境問題、貧困問題などの国際的な課題へのアプローチの過程でSRへの配慮がなされること、またその担い手自身が社会的責任を果たしていくことの必要性を訴える。

上記方針を実現するために、幹事団体を中心とした「プロジェクト」を構成し、フォーラムやセミナーなどを開催する。

#### プロジェクトテーマ

- (1) 社会責任に関連する規格の策定・普及
- (2) 公共調達をはじめとする調達における社会責任対応推進
- (3) 「ビジネスと人権に関する国別行動計画」の策定に関する働きかけ・啓発
- (4) NPO/NGOの社会責任（NSR）への取り組み推進
- (5) 地域におけるマルチステークホルダー連携の推進
- (6) SDGsと社会的責任
- (7) その他、会員からのご提案に基づくもの

### <2018年度方針へのコメント>

2018年度は、SDGsやメガスポートイベントにおける持続可能で責任ある調達、非営利セクターのガバナンスといった、SRの主要テーマについて、取り組みを参加者と共に検討するSR

フォーラムとSRセミナーを実施した。また、新たに構成されたプロジェクトごと、そして各テーマを超えた連携も行い、地域においてマルチステークホルダーで取り組むSRの普及に努めた。

ISO26000に関するフォローアップ会合や、新たに結成された「ISO26000 Stakeholders Global Network(SGN)」にも当会の幹事団体が参加して最新情報を共有しつつ、NPO/NGOの声を届けるよう努めた。

## <2018年度の事業報告>

### 1) NNネット全体としての主催・共催事業

NNネットの主な取組み課題である、他セクターとの協働によるSRの普及について、2018年度も、SDGs、ビジネスと人権、責任ある調達等についてのフォーラムやセミナーを開催したほか、他団体との共催や後援を通じて、地域でマルチステークホルダーで取り組むSRの普及に向けた支援を行った。

主催した事業、および共催・後援した各事業は下記のとおり。

### 【主催事業】

#### ■5月22日SRフォーラム2018

—SDGs／ビジネスと人権／NPO/NGOのSR／オリンピック・パラリンピックと責任ある調達

日時：2018年5月22日（火）18：00～20：00

場所：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）

登壇者および講演テーマ：

「SDGs（持続可能な開発目標）」

長島美紀さん（SDGs市民社会ネットワーク理事・広報アドバイザー）

「ビジネスと人権」

松岡秀紀さん（アジア・太平洋人権情報センター特任研究員／NNネット）

「オリンピック・パラリンピックと責任ある調達」

坂本有希さん（地球・人間環境フォーラム理事／持続可能なスポーツイベントを実現するNGO/NPOネットワーク〔SUSPON〕事務局長）

「NPO/NGOのSR（NSR）」

川北秀人（IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者／NPOの社会責任（SR）取り組み推進プロジェクト／NNネット）

開催報告記事：<http://sr-nn.net/archives/5145>

#### 連続SRセミナー2018

##### ■第1回「メガスポーツイベントの持続可能性＋責任ある調達」

日時：2018年11月20日（火）18：00～20：00

場所：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）

登壇者および講演テーマ：

「東京2020大会における持続可能性」

日比野佑亮さん

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

総務局 持続可能性部 持続可能性事業課長

「メガスポーツイベントと責任ある調達」

坂本有希さん

地球・人間環境フォーラム理事

持続可能なスポーツイベントを実現するNGO/NPOネットワーク〔SUSPON〕事務局長

開催報告記事：<http://sr-nn.net/archives/5273>

### 第2回「マルチステークホルダー交流会 in SDGsフォーラム」

日時：2019年2月27日（火）18:00~19:30

場所：プリット記念ホール（聖心女子大学4号館／聖心グローバルプラザ 3階）

ゲスト：北海道国際交流センター 事務局長 池田 誠さん

話題提供者：堀江良彰（AARジャパン）

ファシリテーター：星野智子（NNネット）

### 第3回「非営利セクターのガバナンスを考える」

日時：2019年3月19日（火）18:00~20:00

場所：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）

登壇者および講演テーマ：

「社会課題に挑む非営利・公益組織のガバナンス—理事・理事会、監事の在り方を再確認する」

IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者 川北秀人

開催報告記事：<http://sr-nn.net/archives/5342>

### 【共催・後援事業】

#### ■「NPO/NGOにおけるスタッフの働き方の多様性に対応した組織マネジメント」に関する調査公開報告会

日時：2018年6月19日（火）18:00~20:00

場所：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）

主催：NPOの社会責任（SR）取り組み推進プロジェクト

開催報告記事：<http://blog.canpan.info/iihoe/archive/382>

■NPOの社会的責任（SR）を考える

日時：2018年10月4日（木）13：00～16：00

場所：岐阜県岐阜市岩地2-4-3 ドッグ&オーナーズスクールONELife（人と動物の共生センター事務所）

主催：特定非営利活動法人 人と動物の共生センター

開催報告記事：<http://human-animal.jp/blog/994>

■第4回 持続可能な公共調達（SPP）フォーラム～SDGs時代における地方公共団体の「持続可能な公共調達」の課題と展望～

日時：2018年11月8日（木）14:00～16:30

場所：東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンターRoom A

主催：一般財団法人CSOネットワーク

開催報告記事：<https://www.csonj.org/event181108.html>

■NPO/NGOによるSDGsネットワークおかやま設立総会

～SDGsの達成に対する確かな行動を促すためのNPO/NGOネットワーク～

日時：2018年12月20日（木）18:30～21:00

場所：岡山県ボランティア・NPO活動支援センター「ゆうあいセンター」（岡山市北区）

主催：SDGsネットワークおかやま設立準備会

共催：一般社団法人環境パートナーシップ会議（EPC）

社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク（NNネット）

特定非営利活動法人岡山NPOセンター

協力：SDGs市民社会ネットワーク

関連記事：<http://blog.canpan.info/npokayama/archive/503>

■地域に愛される中小企業のためのSDGs勉強会

—横浜の老舗企業から学ぶ中小企業のSDGsと広げる仕組み—

日時：2019年2月18日（月）13:30～16:30

場所：岡山市勤労者福祉センター4階会議室

主催：特定非営利活動法人岡山NPOセンター、CSR報告書を読む会

共催：SDGsネットワークおかやま

社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク（NNネット）

一般財団法人CSOネットワーク

IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

開催報告記事：<http://sr-nn.net/archives/5309>

## 2) プロジェクトごとの事業報告

### (1) 社会責任に関連する規格の策定・普及

1. 「ISO/SR幹事会」のNGO委員にNNネット代表協議者（黒田、堀江）が参加し、他のステークホルダーの委員らと検討を重ねるとともにISO26000の活用方法や、普及に関しても意見交換を行った（2018年10月9日 第1回懇談会、2019年2月26日 第2回懇談会）。
2. 2018年10月に解散したISO26000発行後の組織（PPO: Post Publication Organization）に代わり立ち上がった「ISO26000 Stakeholders Global Network(SGN)」に、NGOメンバーとして黒田、堀江が参加した。
3. 2018年10月にインドネシアで開催されたISO26000国際フォーラムに参加された日本ILO協議会の熊谷謙一氏（NNネット 個人サポーター）より、ISO26000に関する国際的な動向、SGNについてご報告いただいた。

### (2) 公共調達をはじめとする調達における社会責任対応推進

1. 「地域における多様な主体によるSR推進プロジェクト」として、「公共調達」をはじめ、「多様な主体の協働で進めるSDGs」「マルチステークホルダー連携」「NSR」などのテーマでのセミナー等の開催をNNネットの地域会員団体、および関係する団体に対して呼びかけた結果、（特）岡山NPOセンターが主催する地域の中小企業経営者向けの調達に関する勉強会として、「地域に愛される中小企業のためのSDGs勉強会 ―横浜の老舗企業から学ぶ中小企業のSDGsと広げる仕組み―」を共催した。（P.4参照）  
地域課題や地域づくりに地域の中小企業が主体的に関わる仕組みとしての「横浜型地域貢献企業認定制度」と絡めて、持続可能な公共調達について、IIHOEとCSOネットワークが報告とパネルディスカッションを行なった。参加者約40名、岡山の課題や、地域認証のメリットデメリット等について活発な議論が行われた。
2. 持続可能なスポーツイベントを実現するNGO/NPOネットワーク〔SUSPON〕の協力を得て、2018年11月20日に「メガスポーツイベントの持続可能性+責任ある調達」と題したSRセミナーを開催し、東京2020大会の責任ある調達に関する取り組みの共有、および大会の調達の課題についての意見交換を実施した。（P.2,3参照）
3. 2018年11月8日にCSOネットワーク主催にて開催された「第4回 持続可能な公共調達(SPP)フォーラム～SDGs時代における地方公共団体の「持続可能な公共調達」の課題と展望～」を後援し、NNネットウェブページにて報告記事等を広く発信した。フォーラム参加者約30名、工事現場の元請け下請け業者との関係性についてや地域要件の是非等について活発な意見が交わされた。（P.4参照）

### （３）「ビジネスと人権に関する国別行動計画」の策定に関する働きかけ・啓発

1. ビジネスと人権に関しては、5月22日のSRフォーラム（P.2参照）の際に、本年度取り組むべき1つのテーマとして取り上げられた。講師のアジア太平洋人権情報センターの松岡氏からは、人権尊重とは、「やり方」（プロセス）の質の問題で、特別なものでなく、仕事の上での普通の課題として認識されるべきものであり、ビジネス、オリパラの開催、NPO/NGO活動のいずれにも通じるイシューである、という本質的な話のあと、ビジネスと人権に関する指導原則とそれを実行するための国別行動計画策定についての説明があった。また2018年3月に開始した国別行動計画策定に向けたベースラインスタディの意見交換会についても言及がされた。しかしながら、個別のセミナーは実施されなかった。

### （４）NPO/NGOの社会責任（NSR）への取り組み推進

1. I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所] と（一財）ダイバーシティ研究所が共催し、NNネット幹事団体をはじめとする13の団体が参加する「NPOの社会責任（SR）取り組み推進プロジェクト」において、それぞれの団体のSR取組みについて共有しているほか、同プロジェクトが実施した「NPO/NGOにおけるスタッフの働き方の多様性に対応した組織マネジメントに関する調査」の報告会をNNネットとの共催で2018年6月19日に開催した。（P.3参照）

2. NPOの社会責任（NSR）への取組みを各地で促した結果、岐阜で（特）人と動物の共生センターが実施したセミナー「NPOの社会責任（SR）を考える」を共催、NNネット幹事団体であるI I H O E [人と組織と地球のための国際研究所] の川北秀人を講師として派遣した。（P.4参照）

### （５）地域におけるマルチステークホルダー連携の推進

1. 「地域における多様な主体によるSR推進プロジェクト」として、「多様な主体の協働で進めるSDGs」「マルチステークホルダー連携」などのテーマでのセミナー等の開催をNNネットの地域会員団体、および関係する団体に対して呼びかけた結果、（特）岡山NPOセンターと、「NPO/NGOによるSDGsネットワークおかやま設立総会～SDGsの達成に対する確かな行動を促すためのNPO/NGOネットワーク～」を共催した。本総会にはNPOのみならず、多様なステークホルダーが集まり、地域の活性化や持続性について、多分野からの意見を聞くことができた。会場では全参加者にNNネットのSR冊子を配布し、普及に努めた。（P.4参照）

### （６）SDGsと社会的責任

1. 2019年2月27日にSDGs市民社会ネットワークとの共催により、「ステークホルダー交流会」を開催。企業、芸術家など含め、約40名の参加者との意見交換ができた。SRに関心がなかった人にもNNネットのことを知っていただく好機会となった。（P.3参照）

### 3) 情報発信・広報事業

#### 1. SRセミナーを中心とした情報発信

NNネットのウェブサイト、メールリングリスト、チラシ、Facebookなどを通じ、SRセミナー（3回）、共催イベント（2回）の広報、報告をした。Facebookでの広報では共催先の団体からの情報を転載するなどしてアウトリーチにも努めた。

#### 2. ハンドブックを活用した啓発活動

主催・共催・後援イベント会場で、ハンドブック『策定に関わったNPOが読み解くISO26000』78冊を頒布、『これからのSR—社会的責任から社会的信頼へ』6冊を販売した。また、ホームページにて販売を行い、5名の方に計24冊をご購入いただいた。

### 4) その他

#### 1. 社会的責任に関する円卓会議（以下、SR円卓会議）への参画と推進

NNネットの代表協議者である、総会委員3名に対し、SR円卓会議に関する近年の動向および経緯の説明を行い、NNネットとして必要なタイミングで適切に対応できるよう、協力を依頼した。

## 2018年度組織運営（事務局業務）報告

## &lt;実施期間&gt;

2018年4月1日～2019年3月31日

## &lt;業務報告&gt;

**1. 会議等の開催**

## (1) 第11回 通常総会の開催

日 時：2018年5月22日（火） 15：00～17：00

会 場：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）（東京都渋谷区神宮前）

議 題：

- ・2017年度事業報告・決算の承認
- ・2018年度事業計画・予算の承認
- ・NNネットからの代表協議者の選出
- ・2018年度監事および幹事団体の選出
- ・その他

## (2) 幹事会の開催

- ・第114回幹事会 2018年4月17日(火) 17:00～19:00 @日本NPOセンター
- ・第115回幹事会 2018年5月22日(火) 17:10～17:30 @地球環境パートナーシッププラザ
- ・第116回幹事会 2018年7月17日(火) 14:20～16:30 @難民を助ける会(AAR)事務所
- ・第117回幹事会 2018年9月18日(火) 14:30～16:00 @CSOネットワーク事務所
- ・第118回幹事会 2018年11月20日(火) 14:30～16:00 @地球環境パートナーシッププラザ
- ・第119回幹事会 2018年12月18日(火) 14:30～16:00 @CSOネットワーク事務所
- ・第120回幹事会 2019年1月22日(火) 14:30～17:00 @地球環境パートナーシッププラザ
- ・第121回幹事会 2019年3月19日(火) 14:30～16:00 @地球環境パートナーシッププラザ

**2. 事務局業務の引き継ぎ**

2018年度から事務局業務を下記の5つに分割し、それぞれの担当幹事が中心となって引き継ぎを実施した。

- ・会員管理（CSOネットワーク）
- ・会計（NPOサポートセンター）
- ・広報（環境パートナーシップ会議）
- ・在庫管理（難民を助ける会）
- ・幹事会および総会準備に係る事務（IIHOE）

**3. 会員管理**

## (1) 会員へのフォローアップ

- ・ 会員の入会、継続、休会等に伴う業務  
(今年度は、「ふくおかNPOセンター」と「持続可能な開発のための教育の10年推進会議」が退会)
- ・ 会員メーリングリストの運営と管理
- ・ 会員に対して、幹事会終了後、幹事会議事概要を配信
  - (2) 会員データベース管理
- ・ 会員情報の整理と管理
  - (3) 会費請求
- ・ 会員に対して会費の請求書を作成・送付

#### 4. 会計

- (1) 日常的な会計
  - ・ 円滑な業務執行を行うために、現金等の支払い・精算ルールを策定し、それを明文化して記録、資金の動きを明確にした。
- (2) 資金管理と検査
  - ・ 現預金などの日常の管理状況を検査する業務を行った。
  - ・ 決算書(中間および期末)を作成し、報告した。
  - ・ 監事による監査を行った。

#### 5. 広報

- (1) ウェブサイト管理・運営に関する業務
  - ・ ウェブサイトの管理・運営を行った。
  - ・ 外部からの代表アドレス宛ての問合せに対応した。

#### 6. 在庫管理

- (1) ハンドブックの在庫管理
  - ・ 『これからのSR—社会的責任から社会的信頼へ』、『策定に関わったNPOが読み解くISO26000』の在庫の管理を行った。

#### 7. 幹事会および総会準備に係る事務

- (1) 幹事会開催準備、報告
  - ・ 幹事会開催の日程調整および次第の作成、議事妙録作成と開催報告を行った。
- (2) 総会開催準備
  - ・ 総会開催にかかる準備、資料作成等を行った

以上